

生態系と生物の生息空間

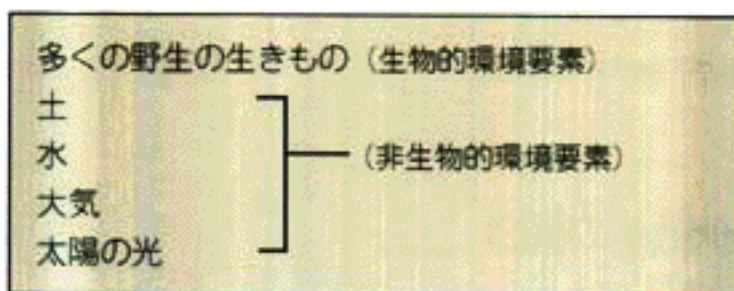


<生態系ピラミッド>



●生態系とは？

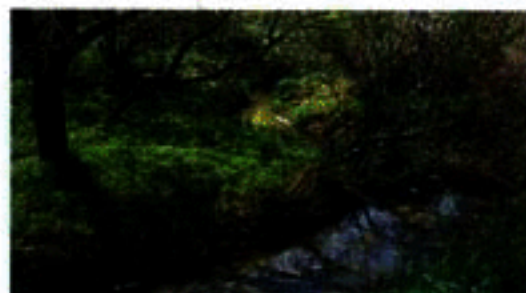
自然界は、大きく分けて次の5つの要素から成り立っています。



この生物と非生物からなる自然の要素が組みあわさった複雑な仕組みを生態系といいます。生きものを例にとると「食べる・食べられる」という食物連鎖の関係が成り立っていて、死んだり枯れたりした生きものもカビやバクテリアなどによって、やがて土にかえされます。このような生物と非生物的環境全体に働いている循環の仕組みとつながり、それが「生態系」であり、多くの野生の生きものはその中心となる主要な構成要素なのです。



河川の砂礫地 イカルチドリやコアジサシなどが繁殖場所として利用している。



小川 メダカやドジョウなどが生息している。



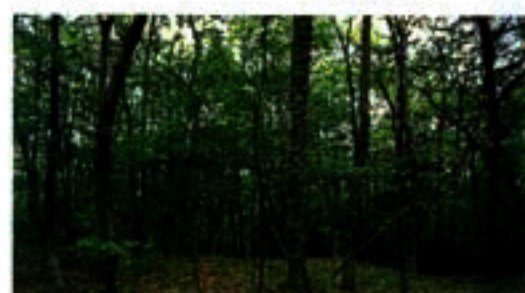
ススキ草原 秋の七草に数えられるオミナエシやキキョウなどは主にススキ草原に生育している。



ヨシ原 オオヨシキリなどが生息している。

●様々なタイプの身近な自然環境

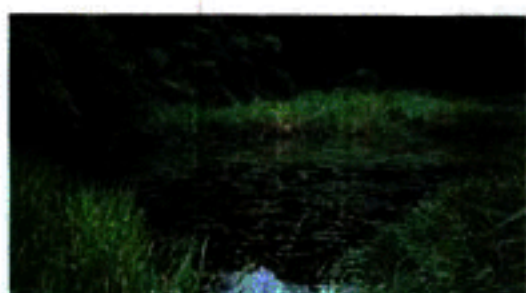
一口に自然といっても地域によって地形や気候は異なり、その環境は様々です。また、身近な自然といっても様々なタイプがあり、そこに適して生きる動植物も異なり、生態系もそれぞれのタイプごとに異なります。



雑木林 二次的ながらも、サシバやサンコウチョウなどが生息する質の高い自然環境である。



干潟 シギ・チドリ類などの長距離の「渡り」をする鳥などの餌場、休息場所としても重要である。



池沼 トンボやカエルなどが産卵するための重要な自然環境である。



社寺林 アオバズクなどのフクロウ類が生息している。